

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

2021-2022 事業報告書

工組・支部名 : 北海道電気工事業工業組合 帯広支部
資料提出日 : 令和3年7月17日

1. 【事業名】第1回未来創造授業（西陵中学校）

【区分】 新規事業 ・ 継続事業（ 6 期目） ※該当事業を選択してください。

【分類】 (J) 下記 A～F より選択してください。

A:意見交換会	B:体験型	C:ボランティア	D:交流	E:研修
F:寄贈、寄付	G:制作・製品化	H:提携	I:コンテスト	J:その他

2. 【実施日時・作成者】

令和3年7月6日（水）13時～15時 作成者：猪野毛 智英

3. 【実施場所】

帯広市立西陵中学校

4. 【提言書 2020 との適合性】本事業に当てはまる項目番号と提言書ページ数をご記入ください

提言書 2020 ➡ <https://tinyurl.com/yhrft7xb>

①人材育成と後継者育成（P.5～） ②組合員の経営安定化の支援（P.12～）

③技術・施工品質の向上と経営能力の向上（P.16～）

◎項目番号： _____ ◎提言書ページ： _____

◎提言書にない場合： _____

5. 【事業目的】

団塊世代が引退を向かえ、電気工事業継続・発展のために、若者が電気工事を志す環境を作らなければなりません。

私達、青年部員は、今後担い手となる若者に、将来の選択肢の一つとして、電気工事業を知ってもらい、また、その魅力を発信する必要があります。今回、業界PR事業として、未来創造授業へ参加し、若年層に電気工事業の魅力を知ってもらう機会を作ります。

6. 【事業内容】

十勝管内の学校（中高）で実施している未来創造授業に参加して若年層への業界の魅力発信する業界PR事業を開催します。

内容は、下記のとおりです。

2単位時間における授業の実施。

- 1時間目「職業講話」
- ・将来の目的に向かって
 - ・自分の好きを見つめ直す
- 2時間目「グループワーク」
- ・得意や好きを探そう
 - ・グループ協議
 - ・まとめ

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

7. 【参加員数】

青年部員 4 名、生徒 38 名 (2 年生 1 学級)

8. 【外部協力者】

十勝教育局 教育支援課 義務教育指導班 指導主事 國木 勇輔氏

9. 【事業総額】

0 円

10. 【事業の成果・PR ポイント】

10 代の未来ある若者に対して、我々の職業観や魅力を直接伝える事の出来る貴重な機会だと感じた。参加者アンケートからも職業の幅広さや働く目的・意義などについての興味に繋がったように感じる。担当の矢柳理事のスライド資料にも、駅前イルミネーション事業やホコテン参画の資料が盛り込まれ、我々青年部の活動も発信する事ができた。

11. 【反省点または工夫した点】

- ・グループワークの時間は、生徒にたいしてサポートや助言ができるよう講師役のほかに 1～2 名参加する事が望ましいと感じた。
- ・事前に新得中学校での実施を見学させてもらったのでイメージできたが、今後も講師役は事前に見学が必須だと感じた。(学校側の求める事業内容との整合性と高める意味で)

12. 【別添資料 (写真・動画等)】



「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

